

○委員長（齊藤 佐知子）

- ・ 欠席委員連絡（能登谷委員）
- 

○委員長（齊藤 佐知子）

- ・ 開会宣告
  - ・ 議題の確認
- 

1 調査事件

(1) 函館市病院事業経営における今後の対策について

○委員長（齊藤 佐知子）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件については、2月18日付で資料が配付されているので、説明を受けるため理事者の出席を求めたいと思うが、よろしいか。（異議なし）
- ・ それでは、理事者の入室を求める。

（病院局入室）

○委員長（齊藤 佐知子）

- ・ それでは資料について説明をお願いします。

○病院局経理課長（熊木 武）

- ・ 資料説明：平成30年度 函館市病院事業の事業実績（12月末）  
（新）函館市病院事業改革プラン「収支計画」の見直し

（平成31年2月18日付 病院局調整）

- ・ 最後に、2月18日月曜日に開催した函館市病院事業経営改革評価委員会の議事の概略を御報告させていただく。当日の評価委員会では、今御説明した資料について事務局から説明した後、各委員から御質問、御意見をいただいた。その主なところとしては、対前年同期で約7億円改善しているのはすごいこと、改革プランで未達成となっているDPCⅡ群病院の指定および精神病棟再開については諦めたということなのか、精神病棟を別な方向で活用することはできないか、今のよい状況を継続するために仕事を減らすことはできないかなどという御発言があり、病院局長や院長等から、DPCⅡ群病院の指定については無理をして手術をして取りにいくとかではなく、今の状況を続けて結果的に達成できればよいと考えている。精神病棟再開については、札幌医大や弘前大に医師派遣を依頼しているが、医局自体に人がおらず当面再開は難しい。地域の精神科医療全体がどのようになるのかということもあるので今の時点で再開を諦めるというようなことは言えない。精神病棟の活用については、本棟の診療スペースが手狭になっているところがあり、それを広げられるよう本棟の職員スペースを移すことができないかなど検討を行っている。業務の見直しについては電子カルテを導入しているものの、いまだに紙を併用している部分など見直しから取り組みたいなどといった趣旨の説明がなされた。当日の議事概要は、今月18日をめぐりに病院局ホームページにアップする予定だ。アップでき次

第、皆様に御連絡させていただくので、よろしく願います。私からの説明は以上だ。

○委員長（齊藤 佐知子）

- ・ お聞きのとおりだ。ただいまの説明について、各委員から何か御発言あるか。

○池亀 睦子委員

- ・ 結果だけ聞いていると、7億円回復したということは本当にすばらしいなと思った。
- ・ あまり個人的なことを言いたくないが、実は転んで、市立函館病院にかかった。救命のドクターの対応がすばらしい。救命に力を入れるって言うけど、本当にすばらしいな。病状の説明の仕方とか。転倒してびっくりしてるし、頭も変になっちゃったんじゃないかと、そういうときに寄り添ったドクターの説明だった。本当に意識がすごく変わっていったのか。前にかかったイメージもあったので。その後、脳外にいても脳外の先生の親切さも感動ものだったし、形成外科も診てもらったがすごく親切に対応してもらった。いろんなことを指摘することばかりが私たち委員会ではないと思うので、やはりドクターの意識が大きく変革しているのかなというのはすごく思った。そしてきちんと収益を上げなきゃいけないという対応もしっかり見てとれて、変わっていったんだなというのをすごく、3人のドクターに対して思った。
- ・ DPCⅡ群のことについて、氏家先生のお考えもあるだろうが、本当にそれでいいのかな、ただ自然にいくっていう。手術件数を獲得するというのはあんまりいいことではないのかもしれないが、やっぱり連携とかで獲得できるものはしっかりしていく。開業医の先生方と連携して、上げれるものは上げていったほうがいいと思う。意識を持つのか持たないかというところで、ちょっとよくなって安心してしまえば、またやっぱり。特に答弁は求めない。もう少し話し合いをしていただいて、意識が落ちないようにしていただきたいと要望として申し上げる。
- ・ 恵山病院だが、前回は透析が減ったので収益がダウンということで、今回も同じ報告だった。全体に上がっていても確実に引っ張っているところがあると、なかなか最終的には厳しいのかな。この間、恵山病院の前を通ったけれども、透析に関して、この環境の中に新しくこれからふやしていけるのかなというのは…透析をしっかりやっているということは前から知っていたので、それが減っていて、これからふやすことができるのか。透析で恵山病院はもっていたと思うので、その辺だけ御答弁いただきたい。

○恵山病院事務長（福井 正人）

- ・ 恵山病院の透析に関しての御質問だが、たしかに夏場、10月くらいまでだが、かなり透析の患者さんが減る。設備の老朽化もありその辺の状況もあったが、それ以降10月に設備を直し、現在外来10名、入院9名と言うことで目標通りの患者さんは確保できている。ことしの新年度予算で、さらに透析を増強するという予算をあげさせていただいているので、地域的に、東部地域で透析をやっているのが恵山病院のみということなので、そこにしっかり力を入れて今後の収益改善を図っていきたい。

○池亀 睦子委員

- ・ わかった。せっかく上向きなので、打つ手は早く打っていかなければ、透析のニーズはしっかりあるので、確保できるものはしていく、それが大事かと思う。以上で終わる。

○委員長（齊藤 佐知子）

- ・ 他に発言あるか。(なし)
- ・ それでは発言を終結する。
- ・ 理事者におかれては、本日の質問の主旨を踏まえ今後の対応を進めていただきたい。
- ・ 理事者は御退出願う。

(病院局退室)

- ・ 議題終結宣言
- 

## 2 その他

### ○委員長（齊藤 佐知子）

- ・ 次に、2のその他だが、各委員から何か発言あるか。(なし)
- ・ 散会宣告

午後 3 時03分散会